

弘大、バリューHR、東京海上HD

健康寿命延伸へ講座

疾病予測モデル研究・開発

弘前大学と、バリューHR（本社東京都）、東京海上ホールディングス（同）は、弘前大学院医学研究科に共同研究講座「健康寿命延伸学講座」を開設した。弘大が持つ健康ビッグデー

々と、両者が培ってきた健康に関するデータや解析技術を生かし、疾病予測モデルや行動変容モデルを研究

・開発する。開設期間は3年間。

講座では、弘前大が岩木健康増進プロジェクト健診で集めた2000～3000項目に関する膨大な健康ビッグデータに、バリューHRが持つ現役世代を中心とした健診データ、東京海

上ホールディングスが培ってきたデータ解析力などを生かし、生活

習慣病などの疾病に罹患するリスクが高い人を明らかにする疾病予測モデルや、高リスク者に対する行動変容モデルの研究開発、インセンティブで健康寿命を延伸する機能を持つ保険商品やサービスの開発を行う。

9日は、弘前大の健康未来イノベーションセンターで設置開設式が開かれ、バ

リューHRの藤田美智雄社長が「人生100年時代、これからの超高齢化社会に向けて当社の役割を果たしていきたい」、東京海上ホ

ールディングスの森脇陽一専務取締役が「健康寿命を延伸できるような社会づくりに向け、3年間の間に一つでも成果を多く得て社会実装していきたい」と、あ

いさつ。福田真作学長も「講座名にあるように県民の健康寿命が伸びることに大きな期待を寄せている」とし

健康寿命延伸学講座

藤田 美智雄



ら
た。
(西尾瑛)